

のびのび通信 第57号

2010年6月

予定変更!

5月の活動は、例年、学校行事と重なるためお休みなのですが、今年は、いくつかの学校の予定が変わったため、数家族が集まることができそうです。そこで、急きょ、活動と切り替えました。活動の内容は、ゲーム! みんな大好きなんですが、親子で楽しめるように、Wiiの画面をジャンボスクリーンに放映して、体感系のゲームに挑戦です。

と、と、ところが…このゲーム機を設定できるのは、たったひとり。そのひとりが、病気で寝込んでしまったのです。この活動を楽しみにしていた子ども達が、突然の中止に混乱する予感!

でも、みんな、しっかり成長しています! それは、楽しみにしていた活動が急にお休みになったのですから、とても残念がっていました。でも、「おっちゃん、病気、大丈夫かな?」「早く、良くなるといいね」と心配していたそうで……。発達障害の特性を表現するときに、「場の空気が読めない」とか、「人の気持ちが理解できない」とか表現されることがありますが、いいえいいえ、人を気遣うことができる優しい子ども達ですヨ。

ジャンボWii = 大人VS子ども =

先月、急きょお休みにしたWiiゲームを再企画しました。

使ったソフトは、ファミリートレーナーで、落ちてくる丸太からジャンプして逃げたり、ハードル走をしたり、ゲームといっても、身体を動かして酸素をいっぱい吸って楽しめます。



=しっかりジャンプして! =



=勝つためには、作戦を=



=次の種目の説明しま〜す=

T+ 対戦は、個人対決ですが、その結果をチームの得点として集計し、総合得点を競います。だから、対戦順が勝敗のポイントなんです。チームのまとめ役は、みんなの意見をまとめ、そ

して、チームのみんなはその采配に委ねています。大人が見ても、頼もしい存在だになって感心していました。

ご寄附

ホームページから、クレジットカード決済によるご寄附の受付ができるように設定しているのですが、これを活用してご寄附いただきましたので、報告いたします。個人情報関係で、お名前などは掲載できませんが、この場をお借りしてお礼を申し上げます。ご寄附は、のびのびの活動に活用させていただきます。本当にありがとうございました。

活動には、記録がつきもので、大人がデジカメ片手に撮影しているのですが、こういうデジタル系に強いのが「のびのび」の子ども達です。

「カメラ貸して〜」と主張してきます。ちょっと不安ですが…。

しっかり腕にストラップを通して落下防止をすることを約束で、貸してみることに…。すると、大人の視点では撮らないような味のある作品が撮れてました(下)。否定せずに、子ども達の探究心を尊重すると、ネッ! プチカメラマンの誕生でしょ。



発行:発達障害児支援サークル「のびのび」